

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 日の出福祉会	代表者	中田 喜久	法人・事業所の 特徴	法人の特徴:高齢者福祉事業だけではなく保育事業も展開しているところです。保育事業が法人内にあることで、子育て世代の職員が子どもを預けながら安心して働けるという環境づくりがされています。 事業所の特徴:食事を手作りし利用される方に調理に参加いただいています。通い、泊まり、訪問の小規模機能としては訪問を月に700件ほど行っています。敷地内に特養・グループホームが併設しております。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所のべ	管理者	星野 純一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・更に意見交換を重ね課題を明確にしていく。	・介護ソフト導入に伴い情報の共有が一元化出来ました。 ・ミーティングについて毎週月曜開催となりましたが出来ない時もありました。	コロナウィルス感染拡大に伴い聴取できず	・ミーティングを毎週月曜に開催し課題について話し合いをし、参加できない職員についてラインワークスを通し共有を図ります。
B. 事業所のしつらえ・環境	・玄関まわりに訪問者が判りやすい表示をする。 ・玄関前アプローチの花壇を充実させる	・玄関先、施設周りに草花の配置、職員と利用者様が共に行い環境の設定を行いました。	コロナウィルス感染拡大に伴い聴取できず	・引き続き、玄関先、施設周りに草花の配置、職員と利用者様が共に行い環境の設定を行い地域の方が行きやすい事業所作りを目指します。
C. 事業所と地域のかかわり	・コロナウィルス感染が落ち着き次第、地域のサロンの参加や事業所見学会の再開をしたいと思えます。	・コロナウィルス感染拡大に伴い、参加が出来ませんでした。	コロナウィルス感染拡大に伴い聴取できず	・引き続きコロナウィルス感染が落ち着き次第、地域のサロンの参加や事業所見学会の再開をしたいと思えます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・コロナウィルス感染が落ち着き次第、地域の方々に向けた催しを再開予定	・地域に出向き、介護予防やミニ講座を予定していましたが中止になりました。	コロナウィルス感染拡大に伴い聴取できず	・コロナ感染落ち着き次第、地域に出向き、介護予防やミニ講座の参加をしたいと思えます。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議を通し見える事業所運営をしていきたいと思えます。	・運営推進会議について書面のみの発表になりました。	コロナウィルス感染拡大に伴い聴取できず	・運営推進会議を通して事業所をより理解していただけるよう広報を行います。
F. 事業所の防災・災害対策	・事業所の避難訓練に地域住民に参加して頂く。事業所は地域の防災訓練に参加し相互で協働体制が図れるように努める。	・事業所内で消防訓練等は出来ましたが地域に向けて発信できず。	コロナウィルス感染拡大に伴い聴取できず	・事業所の避難訓練に地域住民に参加して頂きます。事業所は地域の防災訓練に参加し相互で協働体制が図れるように努めます。